

2021年3月期 第3四半期
決算説明会

2021年2月19日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

- 2021年3月期 第3四半期 決算の概要
- 2021年3月期 第3四半期 連結損益状況
- 2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績
- 2021年3月期 第3四半期 営業外及び特別損益等
- 2021年3月期 第3四半期 営業利益分析
- 2021年3月期 第3四半期 連結財務状況：対前期末
- 2021年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フローの状況
- 2021年3月期 通期業績予想及び年間配当予想

● 外部環境

- 第3四半期の期間における国内需要は一時的に回復
- 2021年度も引き続き市場の不確定性は高い

● 内部環境

- 上期から引き続きコスト改善および生産性向上施策を推進
- 第3四半期は全社一丸となった施策の成果が利益に反映

● 第4四半期以降の見通し

- 異常事態に備えるリスク管理が経営方針の中心
- 足元は国際的に資材、物流、生産キャパシティに歪み、先行きはまだ不透明な状況

2021年3月期 第3四半期 連結損益状況



	2020年3月期 第3四半期 実績		2021年3月期 第3四半期 実績				2021年3月期 通期予想 (本日2/12修正)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	進捗率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	107,288	100.0	79,849	100.0	▲27,439	▲25.6	112,000	71.3
営業利益	4,039	3.8	663	+0.8	▲3,376	▲83.6	3,100	21.4
経常利益	3,667	3.4	961	+1.2	▲2,706	▲73.8	3,300	29.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,692	2.5	1,576	+2.0	▲1,116	▲41.4	2,700	58.4

● 2021年3月期 第3四半期業績概要 (対前年同期比)

- 売上高：新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、▲27,439百万円減収となるが、各地域とも第3四半期は回復し、第2四半期対比で減収率は大幅に縮小。
- 営業利益：第3四半期における各地域の売上回復及び固定費削減の効果により、663百万円の営業利益へ黒字転換。
- 経常利益：営業利益の回復及び助成金収入の計上により第2四半期より大幅に回復。
- 純利益：経常利益の回復及び受取保険金の計上もあり、第2四半期までの純損失から大幅に回復。

● 為替レート

損益換算レート (単位：円)	2020年3月期 第3四半期 平均レート	2021年3月期 第3四半期 平均レート	変動率
ドル	109.2	107.6	▲1%
ユーロ	122.7	120.9	▲1%
メキシコペソ	5.7	5.0	▲12%
人民元	15.9	15.4	▲3%
インドルピー	1.6	1.4	▲8%
タイバーツ	3.5	3.4	▲2%
ロシアルーブル	1.7	1.5	▲9%
ブラジルレアル	28.1	21.5	▲24%

2021年3月期 第3四半期 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期 増減	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	41,318	31,409	▲9,909	2,132	▲132	▲2,264
北南米	31,777	22,050	▲9,727	719	▲387	▲1,105
欧州	19,699	14,667	▲5,032	▲320	351	+671
中国	14,541	14,107	▲434	312	777	+465
アジア	16,827	10,327	▲6,500	1,479	200	▲1,279
連結調整	▲16,873	▲12,711	+4,162	▲283	▲146	+136
合計	107,288	79,849	▲27,439	4,039	663	▲3,376

● 2021年3月期 第3四半期の地域別業績のトピックス (対前年同期比)

- 日本【減収・営業赤字】 売上の回復が継続し、固定費削減などの施策効果も現れ、第3四半期は営業赤字が残るも第2四半期対比で大幅に業績は回復。
- 北南米【減収・営業赤字】 第2四半期の業績が底であったが、第3四半期は売上の回復と固定費削減施策の効果もあり業績は回復傾向。
- 欧州【減収・営業黒字】 7月以降の生産回復に加え、前年より実施している構造改革の効果、時短勤務、政府補助金制度の活用を含めた固定費削減が大きく寄与し、営業赤字から営業黒字への転換を達成。
- 中国【減収・増益】 第1四半期に一時生産を停止した影響により減収となったものの、第2四半期以降の回復が寄与し、固定費削減、政府補助を含めた施策効果もあり対前年同期比で増益。
- アジア【減収・減益】 7月以降生産台数が徐々に回復しつつあり、固定費削減、構造改革効果と併せ第3四半期の業績は回復し、営業黒字。

2021年3月期 第3四半期 営業外及び特別損益等



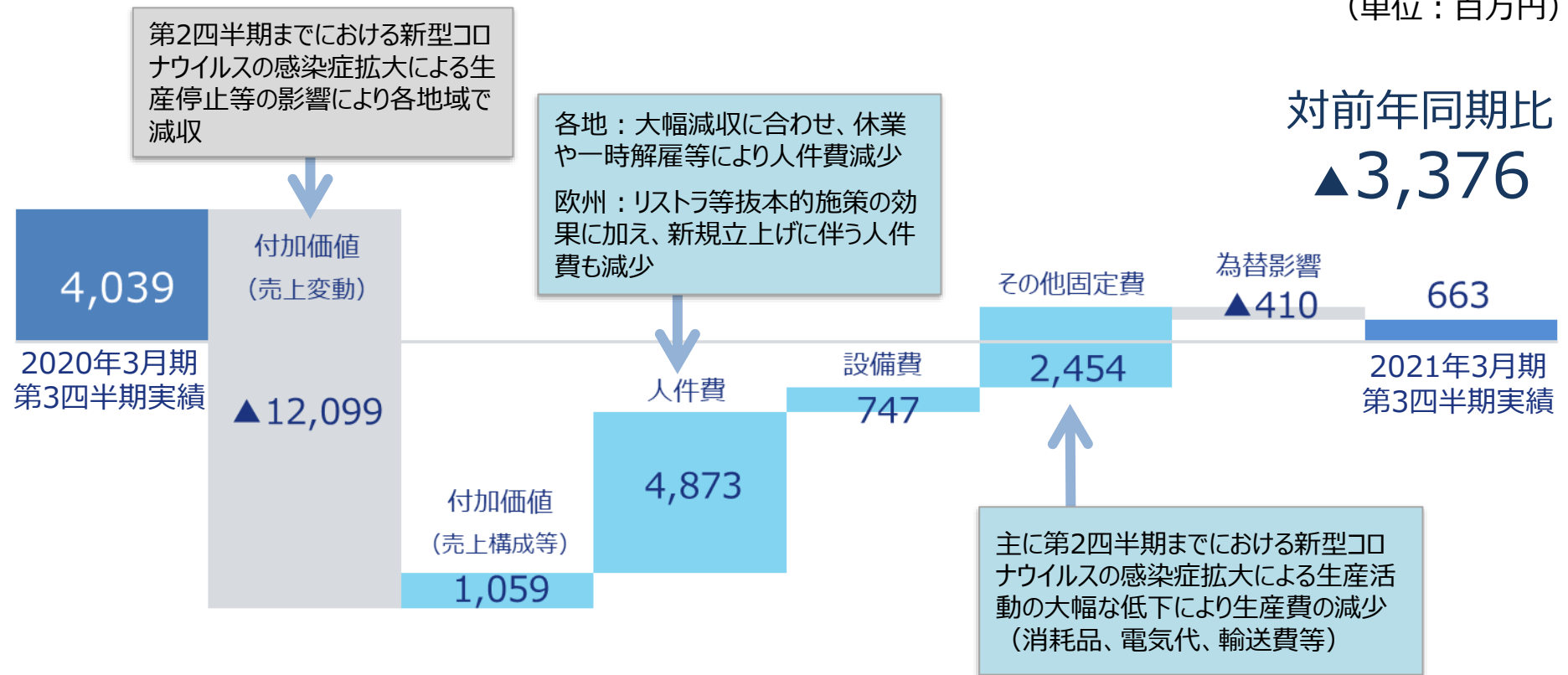
(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2020年3月期 第3四半期 実績	2021年3月期 第3四半期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期		
				増減額 (百万円)		増減率 (%)
営業利益		4,039	663	▲ 3,376	▲ 83.6	
営業外 損益	営業外収益	791	1,157	+ 365		助成金 +672 受取配当金 ▲95 その他 ▲172
	営業外費用	1,163	859	+ 304		為替差損の減少 +182
経常利益		3,667	961	▲ 2,706	▲ 73.8	
特別利益		1,937	2,061	+ 125		固定資産売却益 ▲1,917 投資有価証券売却益 +1,247 受取保険金 +795
特別損失		459	135	+ 323		減損損失の減少 +382 (前年同期：日本▲247、欧州▲135)
税引前四半期純利益		5,145	2,887	▲ 2,258	▲ 43.9	
法人税等		1,865	1,148	+ 717		
非支配株主利益		588	162	+ 426		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		2,692	1,576	▲ 1,116	▲ 41.4	

各地域の売上回復に加え、固定費削減の効果により、第3四半期から営業黒字へ転換。

(単位：百万円)

対前年同期比
▲3,376



注：付加価値（売上変動）＝連結全体の売上増（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

2021年3月期 第3四半期 連結財務状況：対前期末



連 結		2020年3月期末		2021年3月期 第3四半期			主な増減要因 (金額は百万円)
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	
流動資産	流動資産	53,802	56.9	51,793	58.9	▲ 2,009	総資産： ▲6,630 減少 ① 現預金▲1,675 (有利子負債の返済等) ② 棚卸資産▲817 (在庫低減活動の効果等) ③ 機械装置及び運搬具等の有形固定資産▲2,857 (設備投資の抑制影響及びメキシコペソ下落による換算差異) ④ 投資有価証券▲1,076 (上場株式売却影響)
	固定資産	40,796	43.1	36,176	41.1	▲ 4,621	
	資産合計	94,598	100.0	87,969	100.0	▲ 6,630	
流動負債	流動負債	41,042	43.4	38,555	43.8	▲ 2,487	
	固定負債	19,584	20.7	17,081	19.4	▲ 2,503	
	負債合計	60,626	64.1	55,636	63.2	▲ 4,990	
純資産合計	純資産合計	33,972	35.9	32,332	36.8	▲ 1,640	純資産： ▲1,640 減少 ⑦ 利益剰余金 +1,121 ⑧ 為替換算調整▲1,946 ⑨ 非支配株主持分▲1,149
負債純資産合計	負債純資産合計	94,598	100.0	87,969	100.0	▲ 6,630	

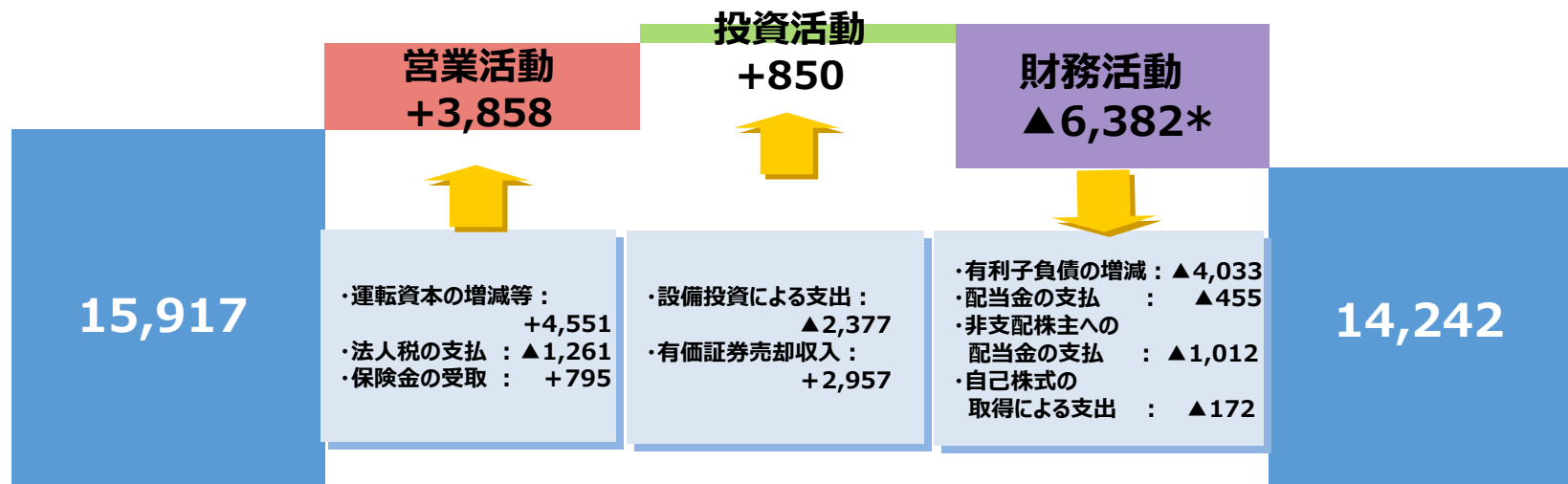
(注1) D/E レシオ・・・前期末 1.1 → 当期末 0.98

(注2) 自己資本比率・・・前期末 32.0 → 当期末 33.9

	前期末	当期末
①有利子負債	33,266	29,250
②自己資本	30,295	29,804
①/②	1.10	0.98

● 2021年3月期 第3四半期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



現金及び現金同等物
2020年3月期末残高

現金及び現金同等物
2021年3月期
第3四半期末残高

* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (▲709百万円) を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	5,868	2,377	▲3,492
減価償却費	3,910	3,724	▲185

第3四半期実績および最近の業績動向等を踏まえて通期業績予想及び年間配当予想を修正

連結	前回予想 (2020年11月10日)	今回予想 (2021年2月12日)	対前回増減	
	2021年3月期 通期見込 (百万円)	2021年3月期 通期見込 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	106,000	112,000	+6,000	+5.7%
営業利益 【営業利益率】	700 +0.7%	3,100 +2.8%	+2,400	+342.9%
経常利益 【経常利益率】	600 +0.6%	3,300 +2.9%	+2,700	+450.0%
当期純利益* 【当期純利益率】	1,000 +0.9%	2,700 +2.4%	+1,700	+170.0%
一株あたり純利益 (円)	+27.50	+74.41	—	—
配当 (円)	7.0	15.0	+8.0	—

*親会社株主に帰属する当期純利益

通期業績予想及び配当予想を修正した要因

以下の業績動向を踏まえ、通期業績予想及び年間配当予想を修正します。

◆通期業績予想の修正

2021年1月以降に半導体不足に起因した国内外自動車メーカーの減産影響等による減益が見込まれるものの、2020年10～12月の売上が回復していること、全社一丸となった固定費削減を含めた構造改革の効果により、売上の増加及び各利益の増加が見込まれるため。

◆配当予想の修正

当期純利益が前回予想を上回る見込みとなったこと、安定的・継続的な配当の観点から総合的に勘案し、年間配当予想は1株あたり15.0円とする（中間配当3.0円及び期末配当予想12.0円）。

參考資料

創業

1939年

21カ国
85拠点

連結従業員総数

8,839名

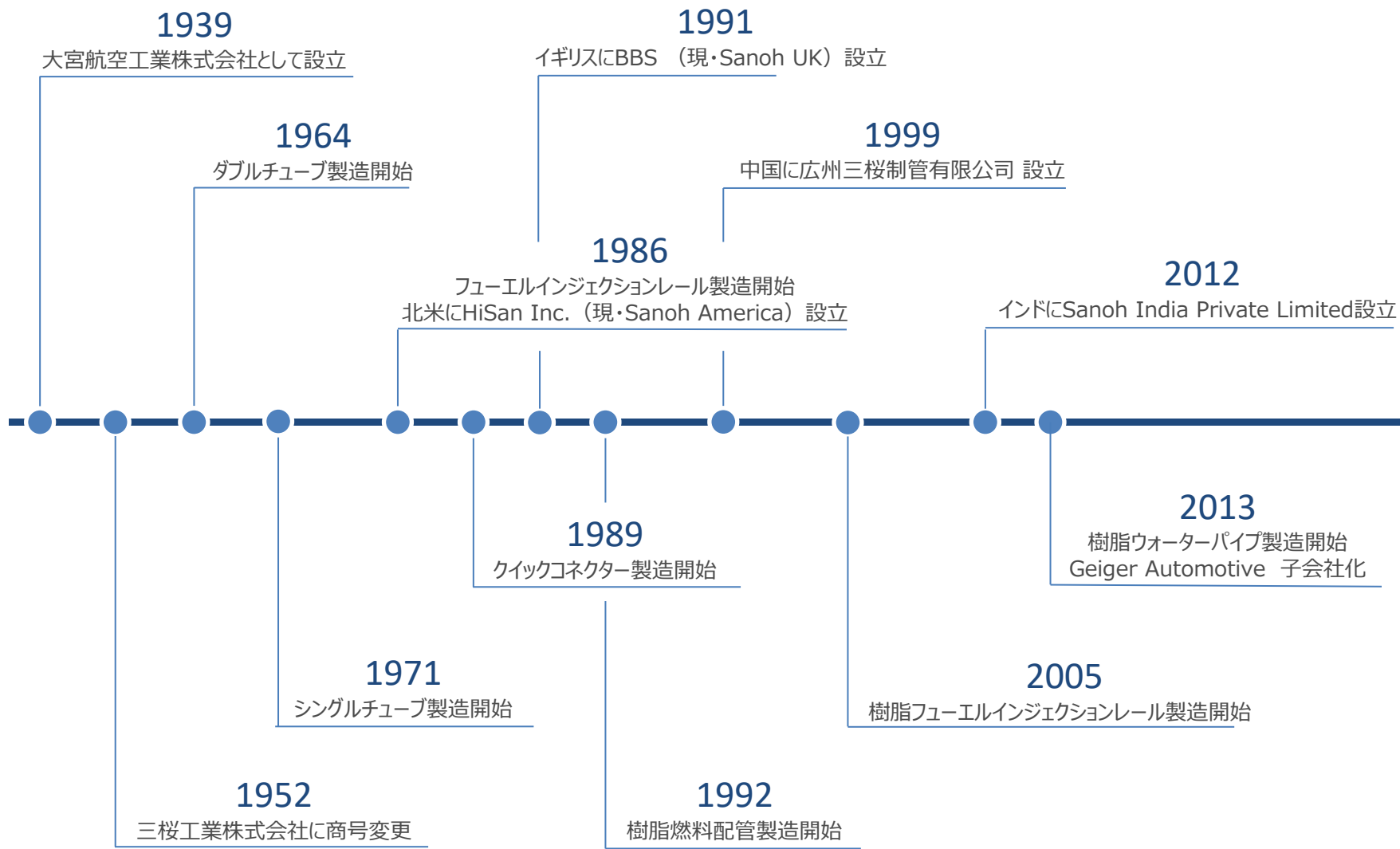


主要製品

40
種類以上

主要顧客数

220社





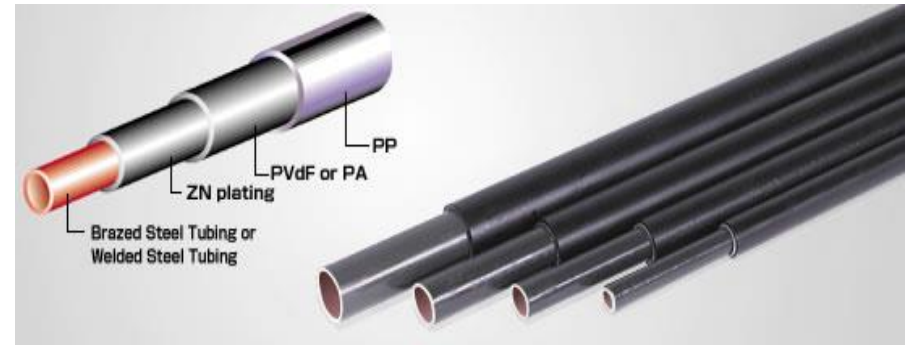
ダブルスチールチューブ



シングルスチールチューブ



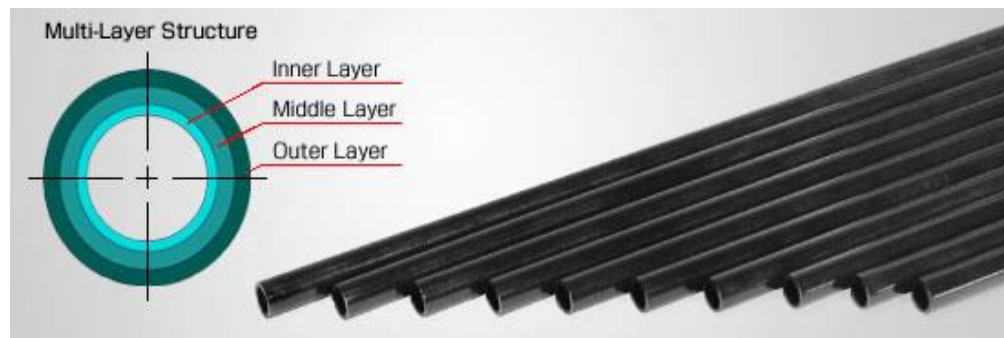
PAコート



PCコート



単層チューブ



多層チューブ

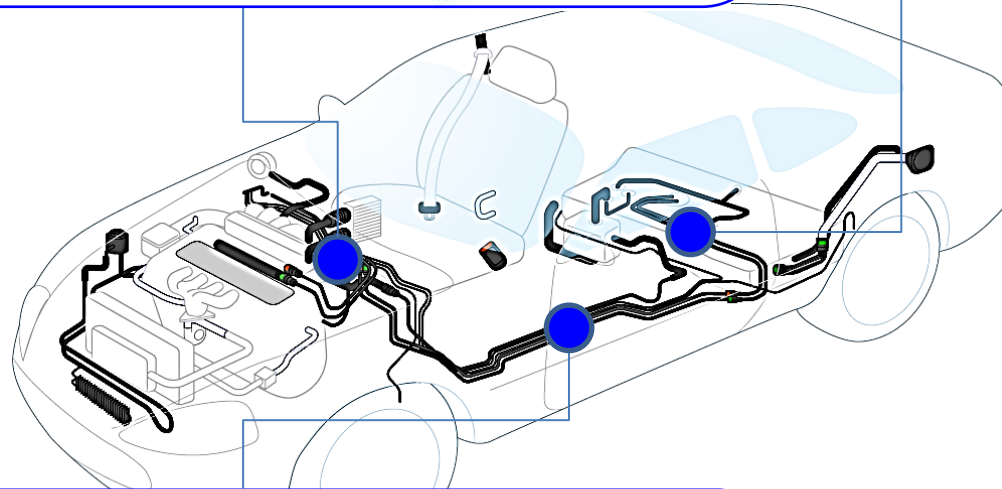


コンポリユートチューブ

ブレーキチューブ



ブレーキバキュームチューブ



集合配管



樹脂燃料配管

クイックコネクター



タンクジャンパー



ベーパーリターンチューブ



ORVRチューブ



フィルターネックチューブ



フューエルインジェクションレール(FIR)

L型



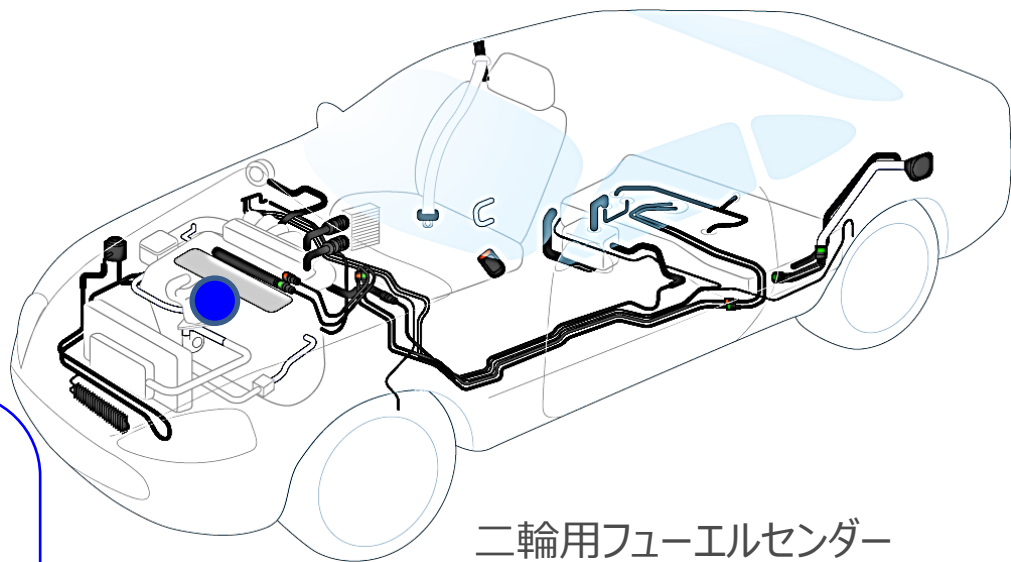
丸型



樹脂タイプ



高圧タイプ



インテークパイプ



ウォーターパイプ



二輪用フューエルセンサー



環境製品

EGRパイプ



エアシャッターガイド

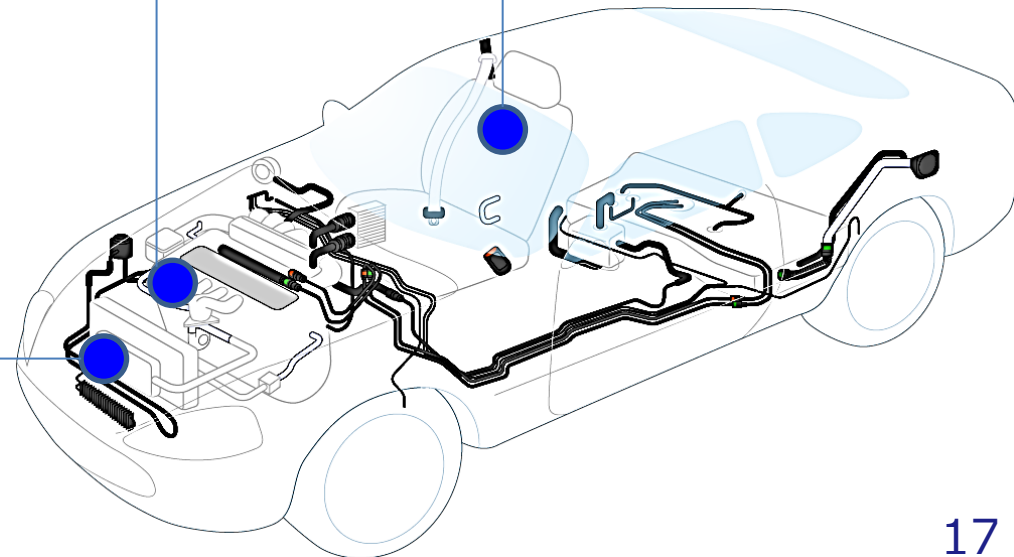


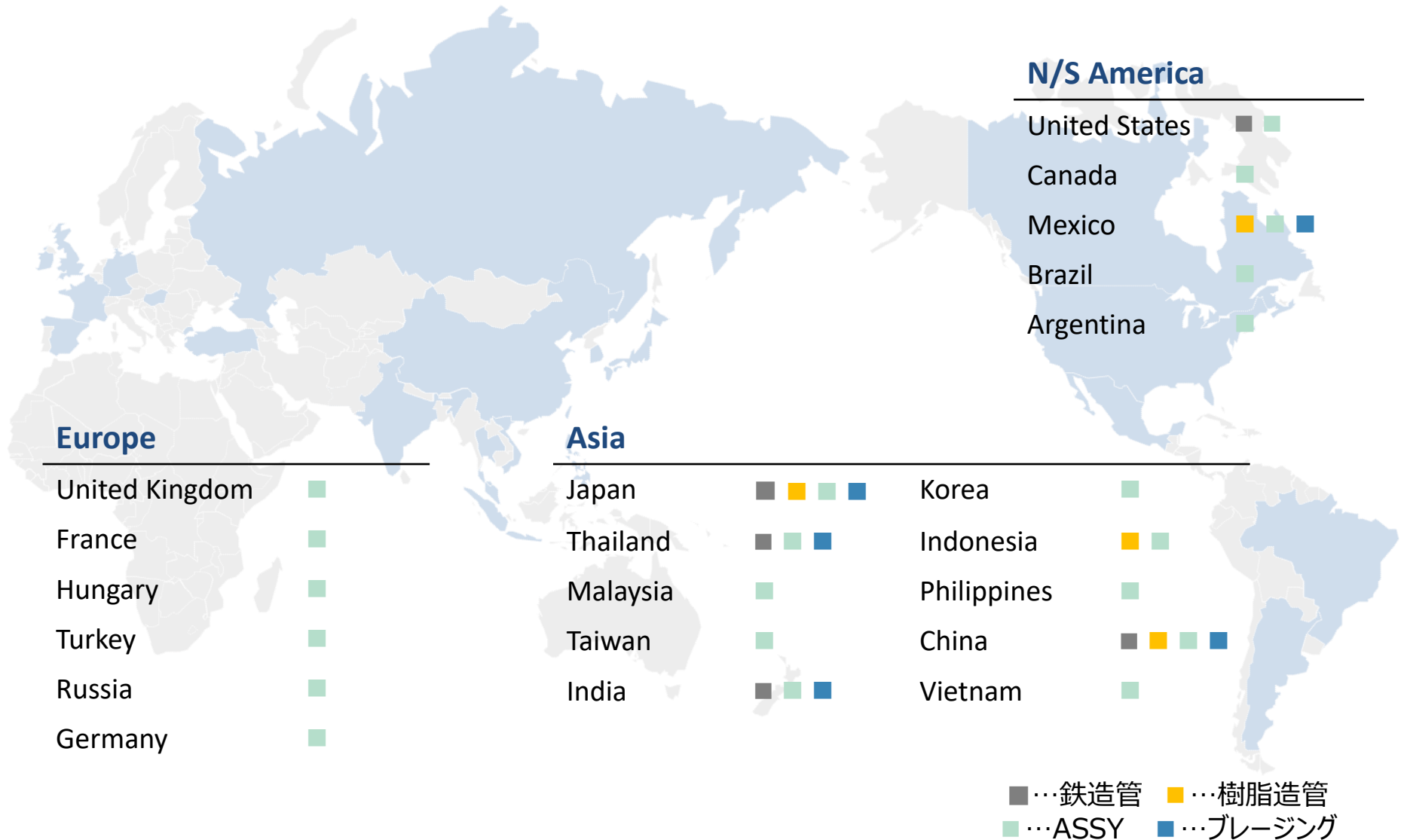
安全製品

プリテンショナーパイプ



バックル、ショルダーアジャスター





日本



このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。